



吉田地区

4号

住民自治協議会だより

キャッチフレーズ：「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

・発行責任者 風間 政美 ・編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会

経験を今後の活動に 難民という新たな課題

吉田地区住民自治協議会 会長 風間 政美

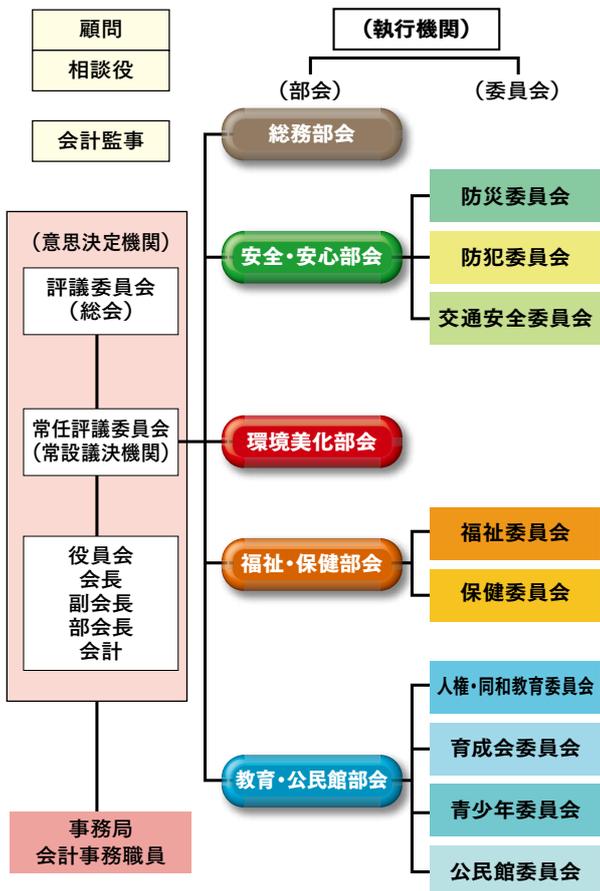


少子高齢核家族化が進み、人間関係が希薄化する等で、社会構造が大きく変化し、住民ニーズが複雑多様化し、画一的な行政対応では、その解決が困難となっています。

そこで長野市では地域の課題は、地域で解決していくという「都市内分権」が導入され、市の主導で、組織化した団体や委員等の委嘱制度が平成二十二年三月末日をもって解散、廃止されました。そして市内三十二地区の住民自治協議会が解散廃止した十団体の活動・事務を各部署で推進されてきました。

吉田地区では、五部会九委員会組織（組織図※）で動き出し、前年度踏襲で難なく進められた部署や委員会組織が以前より縮小したり、委員が新任者等で、大変ご苦労された部署があったかと思えます。しかし、発足初年度での、おのの貴重な経験や体験を、次年度の部会や委員会活動に役立てていただきたいと思います。

※吉田地区住民自治協議会組織図



市では、都市内分権の導入に伴い支所機能を充実し、支援体制を強化する一方で、支所長を地区活動支援職員担当として、住民自治協議会の活動を支援することや、公民館と連携し地区内の人材発掘や育成などを担うとされていますが、今後どう取り組むか課題であります。又、市職員全体の住民自治協議会に対する意識レベルの向上策が見られず、市においても対応が、まだ不十分の面が見受けられます。

住民自治協議会を取り巻く最近の課題は、バス路線の廃止にともない、高齢者の交通難民が続出し、日用品や食料品を扱うお店もなく、買物弱者とか、買物難民と称される方々が、全国で、六百万人と推定され年々増加していると云われています。県商工部の調査では、長野県内に五万二千人から八万人いると発表されています。吉田町も四十年前位前は、吉田町商店街として、各町毎に軒を列ねていて、近隣町村から買物にくるなど盛況でした。しかし、時代の流れとともに、現在はシャッター通りとなり、今後吉田町はどうなっていくか、住民自治協議会としても、避けて通れない買物難民や交通難民など、新たな課題が迫ってきています。

吉田地区自治協議会本部委員会活動の一年

9月 福祉・保健部会

保健委員会

保健委員会では年四回健康作りプランとして、第一回講演会八月三十日、吉田公民館大教室において、演題は「男性の更年期、女性の更年期」について、講師丸山産婦人科医院、丸山和俊院長先生より講演を頂きました。第二回、三回運動講習会は九月二十二日と十月二十六日、吉田公民館和室、講師健康運動指導士徳武有紀先生、更年期障害は運動をする事で軽くなるという事でした。第四回健康食講習会、十一月十二日、吉田公民館調理室、講師管理栄養士戸谷恵美子先生、更年期に起こりやすい骨粗しょう症予防には栄養バランスの良い食事を摂る事が、どちらも生活する中での基本で大切な事だと感じました。



9月 運動講習会



11月 健康食講習会

9月 安全・安心部会

防犯委員会

人の目を避けたいと言う犯罪の心理を突くためにも、パトロールを強化し安全を見つめる目で犯罪者の近寄らない吉田町をめざします。



吉田神社秋祭りパトロール活動
犯罪と非行防止を目的に少年育成連絡協議会と吉田地区防犯協会合同で実施

10月 福祉・保健部会

福祉委員会



福祉委員会を代表する事業に「ふれあい福祉のつどい」があります。今年は十月九日(土)東急ライブ「ワイワイドーム」

にてフリーマーケット開催。地域の皆様に御協力をいただき収益金は地域福祉会の活動資金として、また一部を来年度から運行する福祉自動車積立金とし活用させていただきます。御協力に深く感謝申し上げます。

10月 環境美化部会

先進地モデル事業所の視察研修実施

ごみ減らしや大切な資源と環境を守る為、十月に先進地のモデル事業所、富山市(株)富山環境整備と金沢市戸室リサイクルプラザの二ヶ所を視察しました。

視察研修では事前学習講座を受講、長野市のごみの現状、ごみ資源物のゆくえ、吉田地区資源物回収状況などについて理解を深めました。

(株)富山環境整備では長野市より集められたプラスチック製容器包装のリサイクル原料製造工場と再生製品製造工場のリバースシステムを見学、廃棄プラスチックの再利用率一〇〇%をめざして、再生パレットやOAFフロアー・シートなどが自動化システムにより作り



だされており、何度もリサイクル可能な廃棄物循環型社会構築の重要性を痛感しました。又、金沢市の戸室リサイクルプラザは、山あいにも不燃ごみなどの最終処分場埋立地を利用して作られており、リサイクルとエコライフを融合させる学習の場所として市民に提供、太陽熱給湯システムや太陽電池パネルが屋上に設置されており、棟内の消費電力の一部を補っているとの事です。

3Rで環境を思いやるやさしい心の養成に私達老いも若きも全員が取り組み、住みよいきれいな町づくりに一層の努力を重ねていかなければならない必要性を改めて痛感した意義ある視察研修でした。

11月 教育・公民館部会

人権・同和教育委員会

「人権を認め合う住民の集い」



十一月十六日 東部中学校
十一月十六日 東部中学校
日東部中学校で「人権を認め合う住民の集い」が開かれ宮越陽子さんの講演をお聞きしました。娘の由貴奈ちゃんの詩

「私の電池が切れるまで」を紹介いただき、命の大切さを改めて噛み締めました。

11月 総務部会

十一月十七日(水)に長野市民会館において「住民活動フォーラム」が開催され、ロビーに設けられた「地域自慢コーナー」にて「吉田町の文化財」を販売し、大変好評で二十九冊売れました。



11月 福祉・保健部会

福祉委員会

「男の料理教室」



今年も六月・十月・十一月・十二月・一月・二月と「男の料理教室」を開催しました。

11月 安全・安心部会

防災委員会

いざと言う時こそ冷静沉着で居られる為には、日頃の備えが大切と言われる。

ています。より多くの皆様に備える意識を持つて頂ける様活動していただきます。



情報伝達訓練
トランシーバーの操作訓練



防災備蓄倉庫
点検及び研修
吉田小学校北側



交通安全委員会

最近高齢者の交通事故が問題となっている事から長野中央署、長野市交通政策課より講師の方をお招きし、区内の高齢者を対象に講習会を開催致しました。

市全体の問題ともあつて市民新聞に講習会の様子が紹介されました。



吉田地区高齢者交通安全講習会
(平成22年11月15日 長野市民新聞より)

11月 福祉・保健部会

福祉委員会

飯綱社協の沖弘宣氏による「ボケたつていいやさ、俺たいるわさ」と題し、認知症の理解と家族が地域がどう支えていくかを学びました。これからの地域福祉においては必要なことではないでしょうか。

さて、来年度にむけて吉田地区地域福祉計画は地域の課題、活動内容等策定委員会にて検討しています。



ふれあい福祉のつどい講演会
平成22年11月22日(月)
吉田公民館 大教室(ノルテナがの3階)

12月 教育・公民館部会

育成委員会

十二月二十三日ノルテナがの多目的ホールにて、「クリスマス会」を行い、魔法使いアキトさん、おはなしころころさん、コーラスグループの「ココ・ア・ポコ」が出演して下さい、子供たちが楽しみにしていた抽選会では、アキトさんも交えて、盛大に行うことができました。



12月23日
「クリスマス会」

12月 安全・安心部会

防犯委員会



年末特別警戒夜間パトロール
活動の様子

1月 環境美化部会

吉田地区花いっぱい運動二〇一〇

最優秀地区に鍋屋地区決定

今年度も昨年に引き続き「花の香り
ただよう町づくり」をキャッチフレー
ズに十三地区で運動を展開、区内公民
館の花壇や通路沿い、公園等に花苗の
植え込みを行いました。



最優秀賞 鍋屋地区

季節には色とり
どりの花が咲きほ
こり、私達に潤い
と安らぎを与えて
くれました。

今年新たに制定
された花いっぱい
運動審査基準に基

づき、吉田地区住民自治協議会風間会
長他七名の投票による選考の結果

最優秀賞 鍋屋

優秀賞 押鐘・広町

の三地区が受賞されました。

各町関係の皆さん
おめでとうございま
す。

これからも花と緑
の持つ癒し効果をも
とめ、心豊かな町づ
くりの一環として花

いっぱい運動の推進
に大勢の皆さんのご
参加をお願い致しま
す。



優秀賞 押鐘地区



優秀賞 広町地区

1月 教育・公民館部会

公民館委員会

公民館委員会（各町館長・主事
四十五名）は、市立公民館と連携し、
スポーツ、文化活動の推進に努めてい
ます。毎月の定例会を拠点に各種行事
の企画・運営及
び学びを通して
「人の和と 地
域の輪もて 我
が吉田」の屋台
骨を支えています。
す。



1月11日 俳句学習会の様子

青少年委員会

一月二十二日「青少年健全育成住民
の集い」が開催されました。今年は湯
谷小マーチング、吉田小合唱団と五年
四組学習発表、東部中演劇部と一学年
学習発表。

活気のある発表に、吉田地区の誇り
と子ども達への責任を一層強く感じま
した。



吉田小学校 合唱団の発表の様子

吉田紀行

第4集

何丸翁顕彰保存会

事務局長 徳永 清

◆「吉田のイチョウ」は次回へゴメン
ナサイ！ ①何丸枝垂桜と②何丸翁句
碑の解説です。

①何丸枝垂桜・辰巳池水鳥公園

平成22年（2010）2月28日吉田
地区住民自治協議会の発足を記念して
植樹。
・樹齡は約20年、高さ約7m。
—立札—

「心替 せよとうなるや 花の鐘」
何丸



何丸

◆心替こころかえそれまでの考えや態度が悪
かったと気づき改める。

・うなるうなる力強く低音で長く。
・花はな平安後期（1100年代）以降
は桜の花、春を表現する。
・鐘かね句題が善光寺。よって善光寺の
鐘の音をいう。

②何丸翁句碑・ノルテながの
平成22年（2010）4月18日ノルテ
ながの正面玄関の西側に何丸翁顕彰保
存会が建立。
「立秋の 命なるもの 唐からし」
何丸

◆何丸は医術も
学んでいた。

・立秋りゅうきゅう今年は
8月8日。秋か
ら冬に向かう季
節は健康（命）
が大事である。

・唐からしからし唐
が原産。唐は外国の意で、南アメリカ
が原産。



・日本には1600年頃にポルトガル
人が持ってきた。

・辛みの成分はカプサイシン。ビタミ
ンなど多く、嗜好食品や薬品として用
いられ耐寒耐暑性の野菜です。

◆ノルテノルテスペイン語で「北」

・原語原語 al norte エルノルテ
・エルエルは男性形の定冠詞です。

編集後記

今年の冬は、今までの暖冬とは違い、連
日厳しい寒さの冬でした。
今回は、住民自治協議会発足初年度の活動
の一部を住民の皆様方にお知らせします。
編集には、各部会のご協力を頂きありがた
うございました。今後ともよろしくお願いま
す。
（編集委員一同）